

花の丘病院

パブリケーション
PUBLICATION

2025. 2

冬号

VOL.16

WINTER



1. 2025年 年頭の挨拶／院長 清水 康裕, 理事長 松本 和隆, 会長 松本 隆史
2. 食べる喜びをあきらめない !! ー当院の摂食嚥下支援の取り組みー
／回復期リハビリテーション病棟, リハビリテーション科, 栄養科
3. 当院の職員交流・イベント・フェスタ参加／リレーションシップ委員会
4. 看取りにおける交換ノートを活用した家族とのコミュニケーション／療養病棟
5. 合唱でホルモンみなぎる元気な身体に !! ／通所リハビリテーション

2025年 年頭の  挨拶

〈2025年 法人テーマ〉

「最高の医療・介護を、最高の笑顔で届けよう！」



院長 清水 康裕

「復活・再生・新生」

あけましておめでとうございます。

昨年は、元旦に能登半島地震が発生、その後も南海トラフ地震臨時情報の発出、全国的な酷暑、奥能登豪雨など心痛なニュースが多く、防災や災害医療など考えさせられた年でした。

しかし、今年は巳年！

巳(へび)は復活と再生の象徴。巳年は、新たなことが始まる年、新しい挑戦や変化に前向きな姿勢を示す年などと言われています。

我々も、原点である患者様と利用者様主体の運営の再構築、地域に根差した保険・医療・福祉サービスの提供と改善等、へびが脱皮をするように、復活・再生・新生に努めてまいりたいと思います。

皆様にとって幸ある年でありますことを心よりお祈り申し上げます。



理事長 松本 和隆

「旭日昇天」

平素より当法人への格別のご理解とご協力、誠にありがとうございます。昨年4月での理事長交代から約一年、「患者様中心の医療」を理念に、職員共々一丸となり質の高い医療サービスの提供を目指して参りました。医療を取り巻く状況は日に日に厳しさを増す中、患者様・利用者様・職員の声にも真摯に耳を傾け、組織改革・コスト改善等の取り組みを通じ、持続可能な法人運営に努めた結果、確かな手ごたえを感じております。これには職員の努力、そして地域の皆様、関係される皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。2025年は「旭日昇天」を目標に、「患者様満足度の向上」「職員の成長と働きがいの向上」「地域医療への貢献」を三本柱に、さらなる飛躍を目指しますため、何卒ご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。最後に皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



会長 松本 隆史

「朝の来ない夜はない」

明けましておめでとうございます。令和7年の初春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。さて、昨年末からの全国的なコロナ、インフルエンザの感染拡大は、ワクチンや治療薬の枯渇を招き、現場が混乱している現状があります。今更ながら改めて、これら5類感染症の対応の困難さを実感しています。一方、昨年の能登半島地震後、当院JRATスタッフからの現状報告から、近づく南海トラフ地震対策が身近なものとなりました。

現在、私共を取り巻く環境は、物価高騰や人材不足など、厳しいものがありますが、ご利用者様に「よりそう」心を原点として、助け合いが日常的にある、「壁」のない環境を作っていきたいと思っています。

嚥下
評価

口腔ケア

嚥下食
(安全な食事)

当院の取り組みのイメージ図

食べる喜びをあきらめない!!

— 当院の摂食嚥下支援の取り組み —

当院では、食べる喜びをあきらめないことを意識して、摂食・嚥下評価、口腔ケア、安全な食事である嚥下食の提供の3本柱の取り組みを実施しています。

「食べる力」＝「生きる力」でもあり、そのために実施している当院の取り組みを、以下に紹介させていただきます。

当院における摂食嚥下機能療法の取り組み

回復期リハビリテーション病棟 看護師 佐々木 崇

高齢者全般には加齢による口腔衛生環境の悪化の為、口腔ケアが必要です。また、脳血管障害は嚥下機能低下の原因の一つとして挙げられています。当院では、脳血管障害の患者様を中心に2022年11月より摂食嚥下機能療法を開始しました。回復期リハビリテーション病棟では主に、口腔ケアの介助とスケールを使用した口腔衛生環境の評価を行っています。2024年8月には、第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会に参加させて頂きました。他の病院や施設の取り組みを知ることで、これまでの振り返りとこれからの課題について考える機会を得ることができました。今後も患者様の「食べる」を支援するために、様々な職種と協力しながら努力していきます。



口腔機能の評価の様子

嚥下造影検査 (VF) について

リハビリテーション科 言語聴覚士 森 万純



VF外来の様子

当院では、VF(嚥下造影)外来を行っております。VFとはX線撮影をしながら造影剤入りの飲食物を飲み込んでいただき行う嚥下機能評価法です。今年度は10件程お越しいただきました。最近「むせが増えた」「のどに引っかかる」等、食事の際に違和感をお持ちでお悩みの方、是非ご連絡下さい。誤嚥の場合は今の食事を続けていると誤嚥性肺炎のリスクが高まります。しかし早期発見して食事や姿勢の工夫等を行うことで防ぐことが可能です。一緒にVFで確かめてみましょう。

当院の嚥下食 (安全な食事) について

栄養科 管理栄養士 石留 真寿美

当院では嚥下機能が低下した方に対し、「嚥下調整食の学会分類2024」に基づいた嚥下食を提供しています。「安全で、栄養価が高く、美味しい食事」を目標に、医師、管理栄養士、言語聴覚士、給食会社など嚥下に関わるスタッフが協働し、素材の旨味を活かした手作りの嚥下食を作り上げてきました。

生活機能やQOLの向上などリハビリの効果をあげるためには、しっかりと栄養補給が大切ですので、患者さまの嗜好に合わせたよりよい嚥下食の開発に今後も取り組んでいきます。



嚥下調整食の紹介

◆嚥下造影検査 (VF) を希望の方へご案内

外来は毎週水曜日 14:00 ～、所要時間は15分程で、ご希望日の一週間前までにご連絡頂くとご予約可能です。診療時間内であればいつでもご予約承ります。

お問い合わせ先：花の丘病院 地域連携室

特集

当院の職員交流・イベント・フェスタ参加

リレーションシップ委員会／リハビリテーション科 森 優太

当院では職員向けの交流事業やイベント開催、外部フェスタへ出展して健康チェック等を行っています。

今年度の4月には新人歓迎会として「ボッチャ」を職員で実施しました。近年、ボッチャは多世代でどのような方でも気軽に実施できるスポーツとして着目されています。

また、10月にはワークセンターフェスティバルにて健康ブースを出展して、握力測定や栄養相談を実施することで地域の方々に健康について知って

いただく機会になりました。このように、外部での健康チェックに関しても今後は積極的に参加していく予定で考えています。

11月には職員交流を目的にカードゲームを実施しました。職員も和気藹々と参加している風景が散見されました。12月にはクリスマス会を行い、当院の利用者・入院者の方々を中心にプレゼントを提供させていただきました。今後も、当院の職員・利用者・また地域の方々に有益となる行事やイベントを企画していきたいと思います。



当院入院者にプレゼントをお渡しする様子



新人歓迎会でのボッチャの様子

看取りにおける交換ノートを活用した家族とのコミュニケーション

療養病棟 看護師 井上 ありさ

療養病棟では看取りで入院された際、患者様のご家族とやり取りを行う交換ノートを実施しています。交換ノートでは、担当看護師が日々の患者様の状態や行ったこと、それに対する患者様の反応などを記入しています。ノートは患者様の自室に設置しており、ご家族様が面会された際、思ったことや疑問、取り入れて欲しいことなどを記入していただき、その内容をケアに活かしています。

交換ノートを通してコミュニケーションを図ることで、ご家族様だけではなく患者様本人が望むその家族に応じた入院生活・看取りを提供する事を目的としています。また、交換ノートを使い文字などでやり取りをする事で、ご家族様が抱える口頭では表現しにくい・言いづらいことや不安などを傾聴し、看取りに対して、少しでも受け入れてもらえるよう寄り添った看護の提供に努めています。この交換ノートを始めたことにより患者様だけでなく、ご家族様にも合った看護を提供できるようになったと感じます。この取り組みを継続し、より一層ケアの幅を広げ活かしていきたいと思っています。

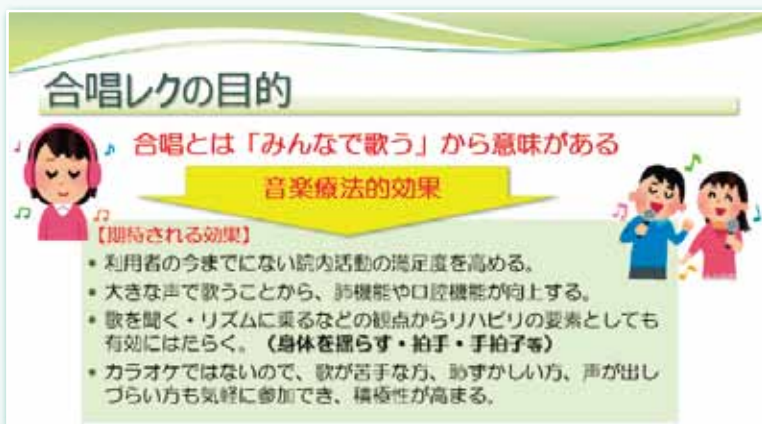
活用している交換ノート用紙

合唱でホルモンみなぎる 元気な身体に!!

通所リハビリ 認知症ケア専門士・介護福祉士 平田 祐介

皆様、初めまして!「歌う介護士」、平田祐介と申します。

私の勤務している通所リハビリテーション(1階)では、利用者様の個別リハビリ以外の時間の過ごし方をもっと充実していただきたく、「音楽療法としての合唱」の取り組みを行っています。スタッフも交えて全員が一つになって、一番心に残っている歌を歌っています。皆様!「歌」って心にも身体にもとても良い効果をもたらすんですよ!ストレスは吹き飛ぶ、脳内ホルモンは出る、免疫力はアップする、血流が良くなり温かくなる、たくさんの酸素を取り入れるので認知症の予防にもなる等、なんと10曲連続して歌うと、1km走るのと同等の運動になると言われます!それくらい健康効果はすごい訳です。現在は1階の通所リハ内だけにとどまらず、療養病棟(3階)にまで顔を出し、「合唱コラボ企画」を開始しています。療養病棟の看護師さん、介護士さんのご協力のもと、寝たきりの方、不活発の方、お体の不自由な方も皆様、参加されています。カラオケではないので、歌が苦手な方、恥ずかしい方、失語・言語障害がある方でも気軽に楽しく参加されています。皆様の歌っている時の笑顔、歌を懐かしんでおられるときのお顔、とても素敵であり、私自身も元気をもらっています。今後も、合唱×音楽で病院全体をもっともっと元気にして行きたいと思っています。



音楽療法の目的と効果



音楽療法実施の様子

これらの取り組みの成果として、2024年11月10日(日)に名古屋国際会議場にて開催された、東海慢性期医療協会 第25回研修会にて口述発表を行ってきました。

演題のタイトルとしては「脳内ホルモンが溢れ出す!身も心もパワーアップ!より機能的な通所リハビリテーションを目指して~音楽療法としての合唱レクと今後の展望~」と題して、多くの医療・福祉・介護専門職に聴講をいただき、貴重な経験となりました。

■編集後記

年頭の挨拶、摂食・嚥下、看取りにおける交換ノート、音楽療法としての合唱等、読み応えのある内容になりました。引き続き、地域に根差した保健・医療・福祉サービスの提供や改善に対する活動を取り上げていきます。

広報誌作成担当: 森 優太

花の丘病院「装具外来」のご案内



- 火曜日 10:00～12:00
木曜日 10:30～12:00
- ☎0598-29-8700
リハビリテーション科 装具係まで



- 昔作った装具を使い続けている…
- ベルトがボロボロになってきた…
- サイズが合わなくなった…
- 装具を使っているけど足がよく引っ掛かる…

そんなお悩みをお持ちの方、ぜひ一度ご連絡ください!

リハビリテーション科 清水 俊次

花の丘病院「もの忘れ外来」のご案内



- 毎週木曜日 / 14:00～17:00
- <外来2診> ☎0598-29-8700

最近「もの忘れ」が気になる方、ご家族の方と一緒に!

やまもとよしすけ

「もの忘れ外来」担当医師 山本 義介



花の丘病院「透析センター」のご案内



無料送迎 松阪市から周辺地域へ順次拡大中!

ご相談・ご見学はいつでも ☎0598-30-8810まで

詳しくは
透析センター
HPへ



スタッフブログ更新中!



医療法人 松徳会

花の丘病院

(発行人) 理事長 松本 和隆

〒515-0052 三重県松阪市山室町707-3

TEL 0598-29-8700

FAX 0598-29-8739

- ◎内科・婦人科・リハビリテーション科・整形外科
回復期リハビリテーション病棟 45床
医療療養病棟 51床
花の丘病院 透析センター 42床
- ◎通所リハビリテーション
- ◎訪問リハビリテーション

花の丘病院ホームページ
www.shoutoku.or.jp

